

### 第3 概算要求の主要事項

凡例：**連携** 連携事業  
**ハード+ソフト** ハード・ソフト施策を一体的に推進する事業  
 \*印 当該施策に関し、新規のものが含まれており、当該新規施策について事前評価を実施したもの（P40参照）  
 各分野ごとの事業費・国費には公共投資関係費（公共事業関係費、その他施設費）を計上整備目標のうち、斜体は政策評価の業績指標とされていない参考数値

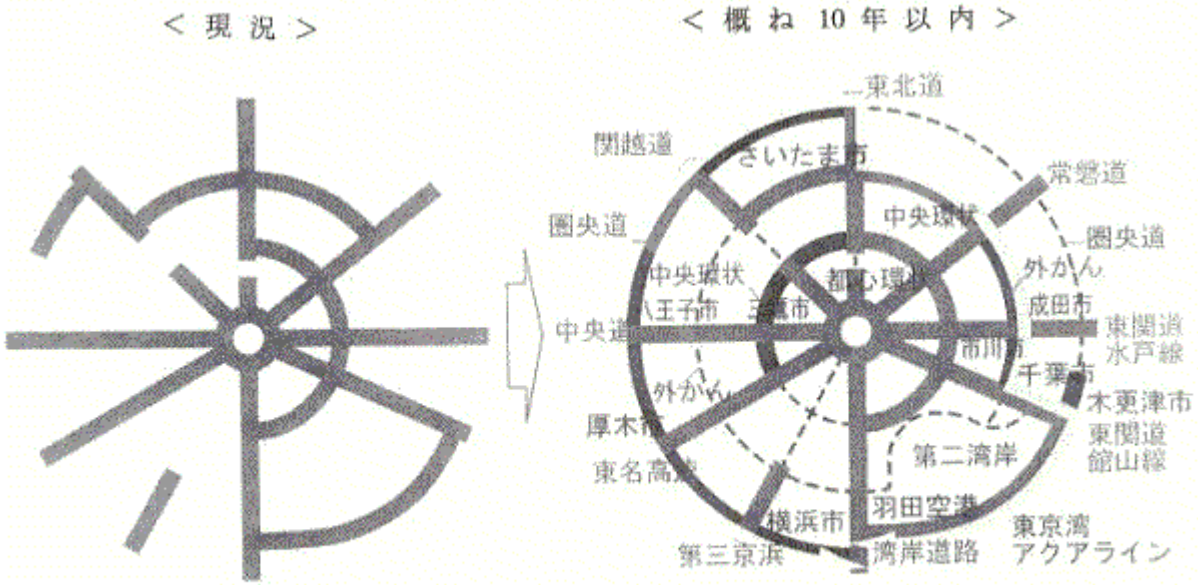
<b>1. 都市の再生 都市の魅力と国際競争力</b>			
公共	事業費	6兆8,373億円（1.06倍）	
	国費	2兆4,859億円（1.08倍）	
非公共	国費	306億円（1.39倍）	

#### (1) 国際競争力を備えた都市機能の再生

##### 三大都市圏環状道路の整備

事業費5,422億円（1.03倍） 国費2,119億円（1.08倍）

首都圏中央連絡自動車道（神奈川県、東京都、埼玉県、茨城県、千葉県）  
 東海環状自動車道（愛知県、岐阜県、三重県）等



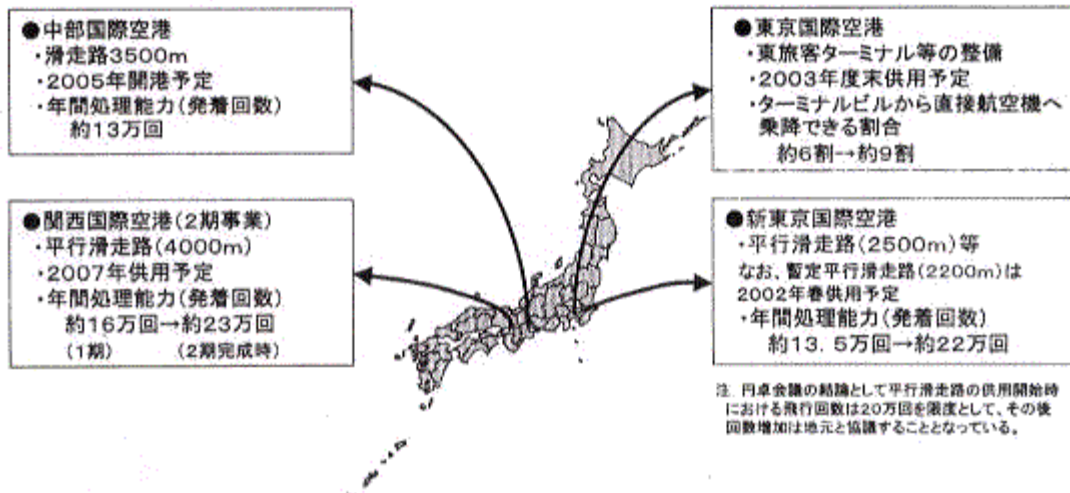
重点リング：首都圏3環状道路のうち進捗状況を勘案し、整備の途中段階でも環状道路の機能を最大限発揮できるように計画した重点区間（圏央道西側区間、外かん東側区間、首都高速中央環状線の3号線以北区間）。

整備目標：概ね10年以内に、首都圏3環状道路のいずれかの部分で9本の放射道路を接続するような環状線（重点リング）を形成

## 大都市圏拠点空港の整備

事業費 4,251 億円 (1.43 倍) 国費 1,451 億円 (1.60 倍)

東京国際空港(羽田)、新東京国際空港(成田)、首都圏第3空港調査(羽田再拡張ほか)  
関西国際空港、中部国際空港



### 整備

目標: 三大都市圏の国際空港における国際航空旅客・貨物容量

4,300 万人 (平成 12 年度) 5,700 万人 (平成 17 年度)

340 万トン (平成 12 年度) 410 万トン (平成 17 年度)

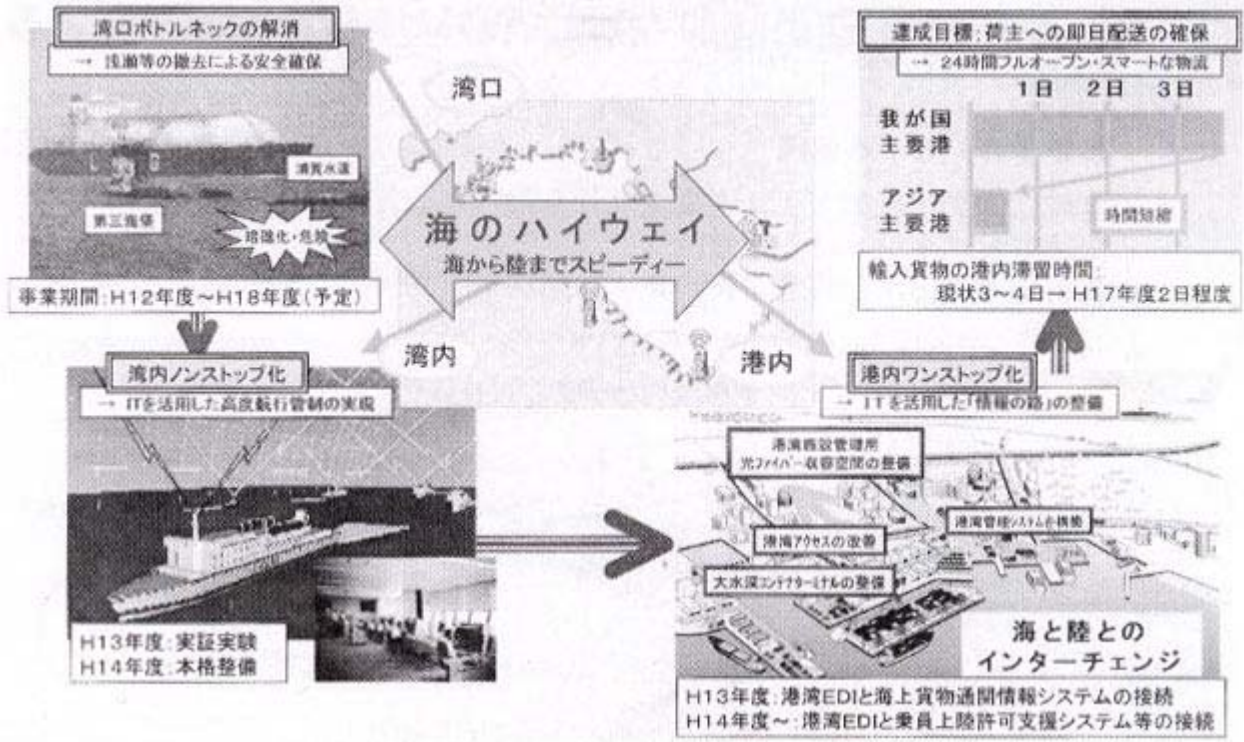
# 大都市の国際港湾機能の強化 **ハード+ソフト**

事業費 1,892 億円 (1.08 倍) 国費 1,185 億円 (1.08 倍)

中枢・中核国際港湾の整備：東京港、横浜港等19港

国際幹線航路の整備：東京湾口航路等 4 航路

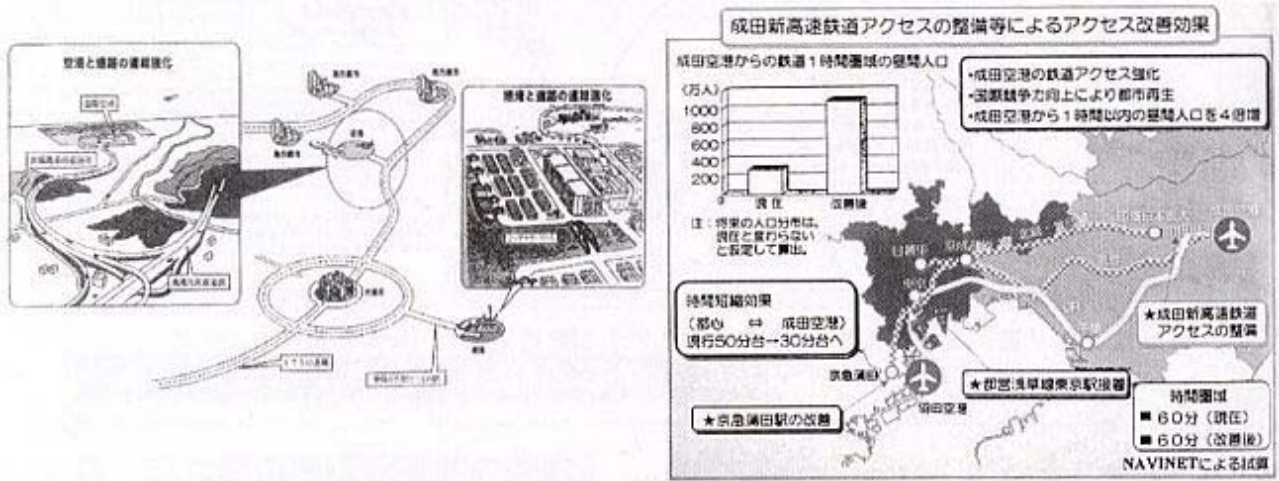
## ハード・ソフト一体となった国際海上物流拠点の形成



整備目標：国際コンテナ貨物の陸上輸送コスト削減率  
 (平成7年比):10%(平成12年度) 20%(平成18年度)  
 船占船白航行のボトルネックの解消率:75%(平成12年度) 90%(平成18年度)

## 空港・港湾等の拠点と道路・鉄道等のアクセスの強化 **連携** \*

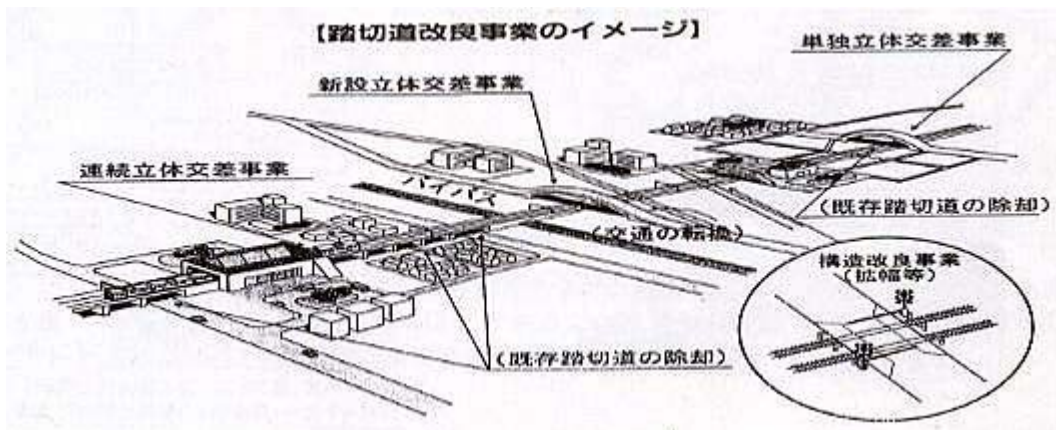
事業費 2,733 億円 (1.07 倍) 国費 1,708 億円 (1.06 倍)  
 マルチモーダル交通体系連携整備事業：北九州港及び関連道路整備、関西国際空港及び関連道路整備、新東京国際空港及び成田新高速鉄道アクセス整備、中部国際空港及び同アクセス鉄道整備等  
 臨港交通施設の整備：東京港、北九州港等約12港  
 総合交通体系分析システム(ナビネット)の拡充



整備目標：自動車専用道路等 IC から 10 分以内にアクセスが可能となる空港・港湾の割合 36% (平成 12 年度) 44% (平成 14 年度)  
 新たな空港アクセス鉄道の整備等により、三大都市圏の国際空港から都心部までの所要時間が 30 分以内となること

## ボトルネック踏切の除却・改良、TDM施策の推進等による都市交通の円滑化 **連携** **ハード+ソフト** \*

事業費 6,376 億円 (1.06 倍) 国費 2,005 億円 (1.05 倍)  
 連続立体交差事業：JR 中央線 (東京都) 等62箇所  
 交通需要マネジメント推進調査  
 都市圏交通円滑化総合対策事業：松江地域 (島根県) 等約20都市圏



整備目標：主要渋滞ポイント解消数 平成 12 年度:600 箇所 平成 14 年度:1,000 箇所  
 平成 22 年度までにボトルネック踏切約 1,000 箇所のうち約半分について立体交差化等により改良

## 鉄道駅等交通結節点の機能強化 連携

事業費 1,425 億円 (1.30 倍) 国費 594 億円 (1.36 倍)

交通結節点改善事業：新宿駅地区、米原貨物ターミナル (滋賀県) 等約180箇所

市街地再開発事業：高石駅東 B 地区 (大阪府) 等45地区

都市再生交通拠点整備事業：天王寺阿倍野地区 (大阪市) 等16地区

鉄道駅総合改善事業 (都市一体型)：春日野道駅、横浜駅、京急蒲田駅

鉄道路線間の乗継円滑化事業：高蔵寺駅・尼崎駅での相互直通運転化